

本校の研修について

別海町立別海中央小学校
研修部



- **校内研等の成果と課題をどのように日常の授業改善につなげていくの？**
- **事後の研究協議をどのように進めていったらよいの？**
- **校内で共通理解を図るにはどうしたらいいの？**



このプレゼンでは

- ①本校の研究について
- ②日常の授業改善につなげる月例公開
- ③研究協議の改善
- ④指導工夫の共有を図る取組
- ⑤成果と課題
- ⑥本日の公開について

～特別なことでなく、今、できることを～



①本校の研究 について



①本校の研究について

【児童について 全国学力・学習状況調査の分析から】

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得については取組の成果が現れてきたが、まだ十分ではない。また、活用する力の育成については課題が見られる。

【指導上の課題】

- ・目指す子どもの姿が曖昧なため、学習活動が効果的に展開されていない。
- ・本時の明確な課題を設定する必要がある。
- ・授業研の指導時期を調整する必要がある。



①本校の研究について

基礎・基本を身に付け、

学び合う中央っ子の育成

【研究仮説 1】

評価の観点・方法
場面を明確にした
指導計画の作成

【研究仮説 2】

本時の目標を達成
するための学習活
動の工夫

ゴールは何か，そのためにどのような学習活動，手立てを考えるか。



①本校の研究について

- 月例公開として行う。
- 指導案は3枚，過度な負担にならないように。
- 成果と課題を明日からの授業に生かす。
- (低)，(中)，(高)，(すずらん)の4つの部会で推進する。
- 授業公開教科については①各種調査から，児童の課題である教科・領域，②教師の指導上の課題に基づいた教科・領域



②月例公開 について



②月例公開について

【本校教職員からのアンケートより】

- 毎月研修があることで、日常の実践に生かせることが多い。
- 初めの1年は何をするにも大変だと思うが、実践は確実に前進していると思う。
- たくさんの授業を見ることができるので、勉強になる。
- 都合のつけられる時に少しでも参観することができ、良いシステムだと思う。



②月例公開について

月	学級	教科・単元名
4	6年1組	算数 「分数のかけ算とわり算」
5	6年2組	算数 「分数のかけ算とわり算」
6	3年2組	算数 「まるい形を調べよう」
	すずらん	自立活動「友達と仲良くしよう」
7	2年1組	国語 「へんしんしてお話を書こう」
9	5年1組	算数 「単位量あたりの大きさ」
	4年2組	国語 「学級で話し合おう」
10	1年2組	国語 「のりもののことをしらせよう」
11	5年2組	算数 「四角形や三角形の面積」
	すずらん	国語 「おはなしのつづきをかこう」
12	3年1組	国語 「場面と場面を比べて読む ～モチモチの木～」
1	1年1組	国語 「みぶりカードをつくって、はっぴょう 会をしよう」
2	全校公開	



月例公開のポイント

①4月からの公開

⇒4月・5月の時期の指導のあり方

- ・学級づくり
- ・学習規律

②研究対象となる学習内容の広がり

⇒いつも、「大造じいさんとがん」?

⇒単元を入れ替える必要もない

日常の授業改善につながるように



③研究協議 の改善



③研究協議の改善

- 視点を重点化する。
 - ⇒①目指す子どもの姿を明確にする。
 - ②その実現のための学習活動・手立てを構想する。
- 目的に合わせて様々な形態で協議する。
(KJ法, パネルディスカッションなど)
- 協議の内容の整理し, 共有を図る。
- 課題だけで終わらず, 改善案を出す。
- 終わった後は, 反省⇒次の研究協議へ生かす。



③研究協議の改善





打先生
視点1 評価
成果

3点
まわ
らねば。

視点2 学習課題・活動
目標に
合わせて
おこな
う活動
をしよう

成果

興味関心
に合わせて
授業を
しよう

課題(改善策)

課題(改善策)

ビシカ

Handwritten notes and diagrams on a whiteboard. The board is divided into sections with titles like '視点1 評価 成果' and '視点2 学習課題・活動'. It features a central flowchart with '目標に合わせたおこなう活動をしよう' and '興味関心に合わせて授業をしよう'. There are several blue and pink sticky notes attached to the board, and a large yellow circle highlights the central goal. The text '3点まわらねば。' is written in large yellow characters on the left side.

課題案(改善策)

理由→評価
計画場面具体的

交流によってカード
完成→課題の評価

大筋をわけて
友達の言葉でかき
写す

印象に残る一言
ひょう(キーワード)
相手の顔を見る

具体的内容の差
交流の要因 BC07
大い交流

Handwritten notes and diagrams on a whiteboard. The board is divided into sections with titles like '課題案(改善策)' and '理由→評価 計画場面具体的'. It features a central flowchart with '交流によってカード完成→課題の評価' and '大筋をわけて友達の言葉でかき写す'. There are several pink and blue sticky notes attached to the board, and a large yellow circle highlights the central flowchart. The text '印象に残る一言 ひょう(キーワード) 相手の顔を見る' is written in black characters on the left side.





③研究協議の改善





③研究協議の改善

【研究協議の方法】

- ・全体 出てきた意見をホワイトボードに位置付ける **共有したい時に**
- ・KJ法 各グループに分かれ、付箋紙で位置付け、成果と課題をまとめる。

考えをたくさん出したい時に

- ・パネルディスカッション
パネリストが授業者に質問し、成果と課題をまとめる。

テーマを深めたい時に



授業観察シート

授業観察シート

授業公開	
1月 26日	5校時 授業者 高岡 慎太郎 先生
【研究内容1】	
①評価規準は具体的な子どもの姿で表され、明確になっていたか。	
②評価場面・評価方法は本時の目標に照らし合わせて適切だったか。	
③本時の評価規準に達していない児童への指導の手立ては適切だったか。	
【研究内容2】	
①本時の学習課題は本時の目標に照らし合わせて効果的なものであったか。	
②本時の目標をふまえた学習活動は適切だったか。	
【学習のやくそく、学習環境について】	
【その他】	

【研究内容1】	①評価規準は具体的な子どもの姿で表され、明確になっていたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1に説明する場面は子どもたちの言語活動に視点をもたせると更によかったように思う。
	②評価場面・評価方法は本時の目標に照らし合わせて適切だったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題とまとめがしっかり正対していた。 ・ペア学習が主だったので、個の思考の見取りが難しいように感じた。 ・1人の思考があってから、ペア学習をした方がよりスムーズに進むのではないか。 ・評価規準に迫るとすれば一。考え方を平行四辺形、長方形に特化して、黒板に分類する。そして、全体交流を行うとよいのではないか。 ・発表したことを分類して黒板に貼る。 <p>→子どもたちの学習の様子を見取るのに役立つ。</p>
	③本時の評価規準に達していない児童への指導は適切だったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントコーナーは（低位の子にとっても効果的）だった。たくさんのひらめきにつながっていた。（ITよりも有効だったように思う。）
【研究内容2】	①本時の学習課題は本時の目標に照らし合わせて効果的なものであったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・操作物がとても多く、課題に取り組みやすかった。「わかった。」「できた。」「あ～！」「なるほど。」の声がよく聞こえてきた。 ・ワークシートの大きさがよかった。 ・図と文で順序よく説明できていた。 ・実物の三角形を切って形を変えられるのは描くだけではイメージしづらい子には助かる手立てだと思った。 ・交流がとても効果的だった。 ・学び合ってペア学習が進んでいったチームが多かった。 ・方眼のよさを生かしていないペアがいた。 ・形がうまく合わずに悩んでいる子たちは辺の長さにはあまり着目はできていなかったように感じた。 ・1つの方法にこだわり過ぎているペアが見られた。 ・すぐにペア学習に入ると、相手と違う考えをもっていた場合、自分の考えがうまく表現できないことが考えられる。個人で考える時間が必要だったのではないか。
	②本時の目標をふまえた学習活動は適切だったか。	



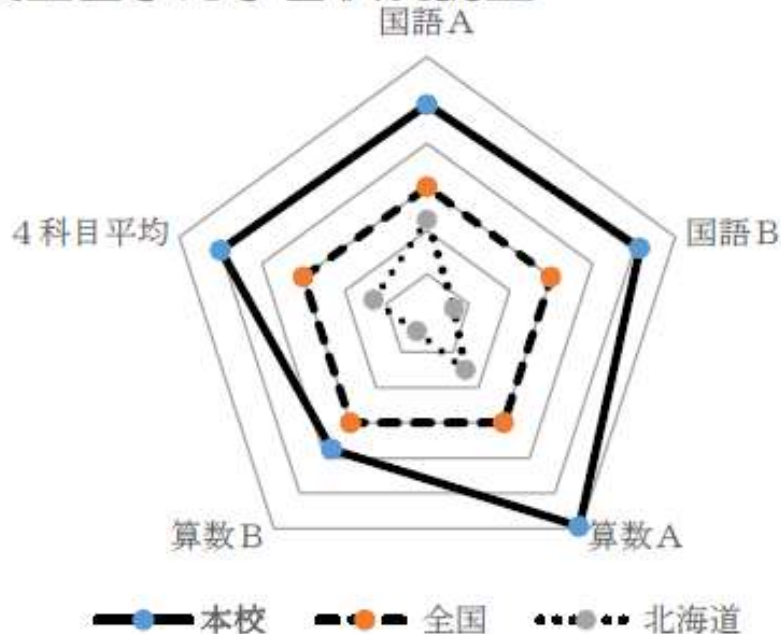
学力調査から

1 全国学力学習状況調査結果

	国語A	国語B	算数A	算数B	4教科平均
全道平均	98	95	97	95	97
全国平均	100	100	100	100	100
本校	全国よりやや高い	全国よりやや高い	全国より高い	全国と同程度(上位)	全国よりやや高い

全国平均を100とした場合のレーダーチャート↓※一番外側が本校のグラフ

平成26年度全国学力学習状況調査



◇全国との比較表現

■ 0~+2%

→ 同程度(上位)

■ +2.1~5%

→ やや高い

■ +5.1~10%

→ 高い

■ 10%以上

→ 非常に高い

※別海町の指針に基づく表現より

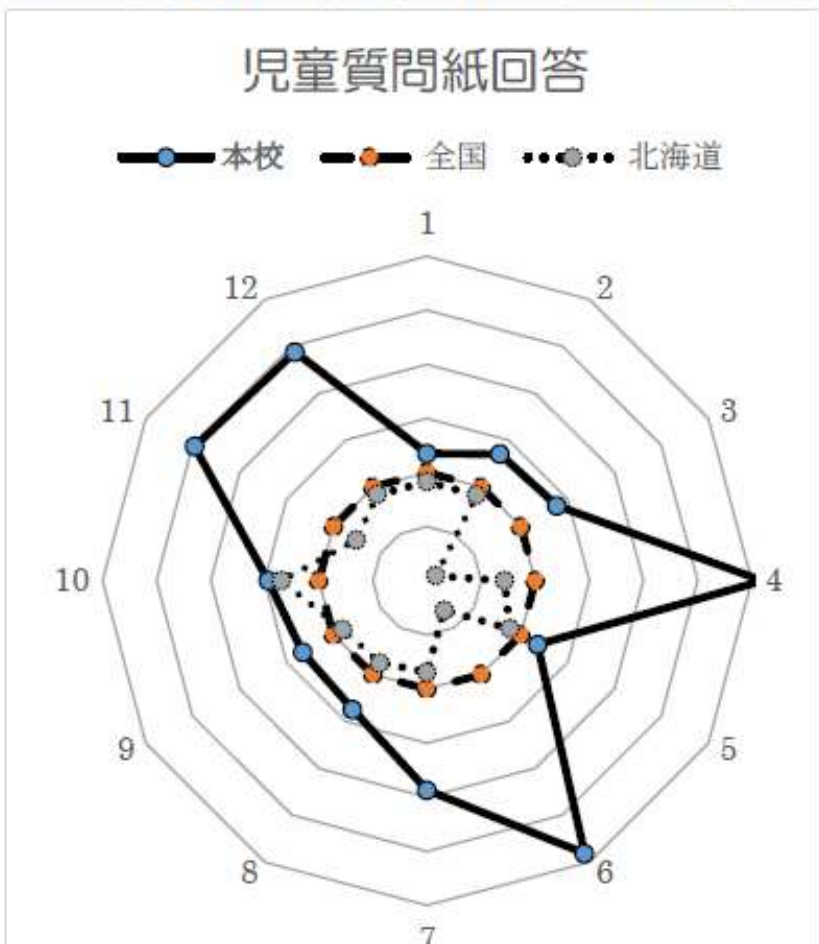


学習状況調査から

2 全国学力学習状況調査・児童回答紙結果（74項目中の特徴ある12項目を一部抜粋）

※74項目中70項目で全国を上回りました。

当てはまる（どちらかと言えばあてはまるを含む）単位%



1～朝食を毎日、食べている。

2～毎日、同じ時間に起きている。

3～ゲームは1日1時間以内に行っている。（全くしないを含む）

4～テレビ等を見る時間が1日1時間以内（全く見ないを含む）

5～家で学校の宿題をする。

6～家で授業の復習をする。※本校の予習率はもっと高いです。

7～先生はあなたの良いところを認めてくれている。

8～学校のきまりを守っている。

9～総合的な学習の時間は普段の生活に役立っていると思う。

10～授業のはじめに、目標がしっかりと示されている。

11～授業の最後に、振り返る活動がよく行われている。

12～自分の考えを説明したりすることは難しくないと思う。

★児童質問紙で、全国平均を下回っている設問項目4点

①普段1時間以上学習している ②休日2時間以上学習している ③新聞を読む ④ニュースを見る

→課題ととらえ今後改善に向け取り組みます。

☆その他～無回答率（解答の無記入）について全国の半分程度でした。ねばり強く取り組んだ結果です



④指導工夫の 共有を図る取組

④指導工夫の共有を図る取組

- ・ブラッシュアップ講座
- ・研修報告会
- ・ノート掲示板



④指導工夫の共有を図る取組

月	ブラッシュアップ講座の内容
5	講座(板書のルール・ノート) 講座・協議(総合的な学習の時間) 講座(短距離走の指導)
6	講座(実物投影機の活用)
7	講座(本校の特別支援教育について) 講座(AEDの使い方) 講座(東京都千代田区和泉小学校 辻教諭から学ぶ)
8	講座(ICTの活用・算数の授業づくり)
9	研修報告会(外国語活動・秋田県横手市 他3校) 説明・協議(全国学力・学習状況調査から)
10	講座(教科書の使い方)
11	講座(道徳教育)
12	講座(道徳の時間の授業づくり) 研修報告(佐賀県鳥栖市立弥生が丘小学校 他2校)
1	研修報告(札幌市立幌西小学校 他3校) 講座・演習(「私たちの道徳」の活用について)



研修報告会





研修報告会



中央っ子の木

家庭学習ノート

The display board is a green, tree-shaped board with a wooden sign at the top. It features a grid of 13 student work samples, each held by a clip and accompanied by a yellow sticky note. The samples include drawings, diagrams, and handwritten text. A large white sign on the right side of the board contains the following text:

好きなことを調べたり、
苦手なことを復習したり、
みなさんも冬休み中に
取り組んでみましょう！

Below the sign, there is a small box containing colorful pom-poms and a larger box containing a textured material.



ノート掲示版

$$\textcircled{3} 0.1 \times 8 = 0.8$$

$$\textcircled{4} 0.8 \times 9 = 7.2$$

$$\textcircled{5} 0.9 \times 4 = 3.6$$

$$\textcircled{6} 0.2 \times 3 = 0.6$$

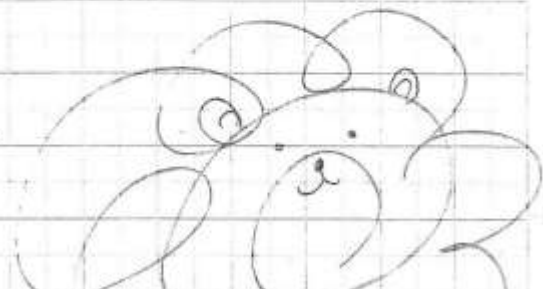
3

$$\text{式} 0.3 \times 4 = 1.2$$

答え 1.2 L

ふりかえり

今日は計算のしかたを考~~え~~て0.1は10倍で1になることか~~わ~~かり0.3を3に変えて考~~え~~てそのあと3を $\frac{1}{10}$ にして0.3にもどして考~~え~~ました。さらにまとめでかけられる数か小数でも整~~数~~数の計算と同じように計算できることか~~わ~~かりました。



学んだことが分かりやすいふりかえりです。
どうして整数と同じように計算できるのか
分かりやすい!!

自分が、どのように考えたのか
が^{ぐたいてき}具体的に書いてあります。
また、小^{しょうすう}数でも整^{せいすう}数と同じ
ようにできると、つなげて
いるところがすばらしいです。



⑤成果と課題

- 月例公開を通し、短いサイクルで繰り返すことで、成果と課題・改善策を授業改善に生かすことができた。
- 講座や研修報告を通して、指導のあり方や工夫を知ることができ、授業改善に生かすことができた。
- 全国・学力学習状況調査などの結果から授業改善の視点をより重点化して取り組む必要がある。
- 講座や研修報告について多くの先生に講師をお願いするなど、全校を挙げて取り組む必要がある。



⑥本日の公開について

・13:30～14:15 (14の授業公開)


・14:30～ (研究協議)

(低)1の1 (中)3の1 (高)5の1

(すずらん)2階プロジェクタールーム

※各部会でそれぞれの授業に分かれて、協議を進めます。

・その後、講評となります。この場所にお集まり下さい。



本日はご参会ありがとうございます。

私たちの小さな一步の

ご意見・ご批正をよろしくお願い致します。